

# 評価

## 夜カフェ ミッションと想いを一致させる 事業評価入門セミナー

2019年1月28日(月)  
18:30~20:30 (18:00受付開始)

府中市市民活動センター プラッツ 第3会議室 (府中市宮町一丁目100番地 ル・シーニュ6F)  
・京王線府中駅から徒歩1分(駅直結) ・JR南武線、武蔵野線府中本町駅より徒歩10分

参加費 : 無料

対象 : NPO等の方、テーマに関心のある方はどなたでも

定員 : 30名(先着順)

主催 : 府中市市民活動センター プラッツ、日本NPOセンター

\*本セミナーはトヨタ財団の助成を受けた「NPO事業評価実践のための研修プログラム開発」の一環として実施します。

\*終了後に交流の場を設けます。お時間がある方はぜひご参加ください。

会費はお一人につきワンコイン(500円)です。

申込 : <https://goo.gl/2FVEsc> ←左記URLより申込(締切: 1月24日木曜日)

問合せ : 開催内容について

認定特定非営利活動法人日本NPOセンター

担当: 清水

E-mail: [mshimizu@jnpoc.ne.jp](mailto:mshimizu@jnpoc.ne.jp) Tel:03-3510-0855

問合せ : 会場・施設について

府中市市民活動センター プラッツ

担当: 高橋

E-mail: [y-takahashi@fuchu-platz.jp](mailto:y-takahashi@fuchu-platz.jp) [Tel:042-319-9703](tel:042-319-9703)

NPOにも評価を、と言われるこの頃。「レッテルが張られてしまう」「表現がうまい団体だけ活用できる」といった、ネガティブな発想での評価という言葉が先立ちます。でも本当の意味での評価はもっとポジティブで、NPOの想いを具体的な事業に落とし込んでいく優れた技法なのです。

また、日々業務の山と向き合っているNPOが貴重な時間を使って事業を評価するには、自分たちの思いと活動をしっかり言葉にできたと感じる評価でなければ走り切れません。

このセミナーでは、講義とワークを通じ「そもそも、評価って何？NPOはどう評価に向き合えばいいの？」という基本的な問いをまず考えます。

やらされる評価ではなく主体的に評価を活動に役立てていくにどうすればいいのか、NPOの評価のあり方を考えてきた講師からヒントを提供します。

事業評価が持つ力と限界をきちんと見極め、あなたの活動に役立つ評価のあり方を考えましょう。

NPOの皆さんはもちろん、「NPOと評価」のキーワードにピンときた皆さんを歓迎します。

#### ■内容

1. そもそも、事業評価って何？
2. 事業評価にできることは何だろう
3. 事業評価のステップ&NPOの評価のあり方とは
  - ・概説「事業評価の基本ステップ10」
  - ・NPOの評価のあり方…役立つ点と注意点
4. 地域の評価リソースマッピング
5. 質疑応答、講師コメント
6. 事業評価のお役立ち情報

\*内容は若干変更される可能性があります。

#### 講師 今田克司(いまたかつじ)

##### 日本NPOセンター副代表理事

米国(6年)、南アフリカ(5年半)含め、国内外でNPOマネジメント歴24年。現職ほかに(一財)CSOネットワーク代表理事、(一社)SDGs市民社会ネットワーク業務執行理事。

社会的インパクト評価イニシアチブ(SIMI)共同事務局メンバー、同ガイドライン・ワーキング・グループ・リーダー、などNPOやソーシャルセクターに評価文化やインパクト・マネジメントを根づかせる試みでも牽引役を果たしている。

2018年12月より日本評価学会理事。



##### コーディネーター 高橋 義博(たかはし よしひろ)

事業評価コーディネーター(若葉マーク)、ボランティアコーディネーター

2012年から調布市市民活動支援センター、2017年から府中市市民活動センター プラッツで従事している。

2000年より大手複写機メーカーの評価部門で12年間従事していた経験から、2018年の4月にJNPOC主催の事業評価コーディネーター養成講座に参加した。実習の現場として環境系認定NPOや、障害当事者支援系NPOなどの伴奏支援を行った。

その他、府中ボランティアセンター運営委員(2017・2018年度)、居場所づくり研究会委員(2017・2018年度、TVAC主催)、ボランティアフォーラムTOKYO副実行委員長(2015-2019、TVAC主催)などの役割も持つ。子どもたちやその先の世代に、なにが残せるのかを夢見る2児の父。

#### 【事業評価コーディネーターについて】

日本NPOセンターの「NPO事業評価実践のための研修プログラム」では、地域レベルでNPOが事業評価を自分たちのミッション達成や組織基盤強化に活用できるように、地域のリソースを上手に利用するコーディネート役として、事業評価コーディネーターの育成を実施しています。